

## 月山：志津～姥沢山スキー報告

【山城】出羽三山：月山

【日程】2017年12月9日（土）～10日（日）

【メンバー】菊池 他9名（チーム福島）

【行程】

9日：千葉～石岡（K宅駐車場に自車をデポ）～郡山～7：50寒河江SA集合～志津除雪終了地点（700m）9：00～（840m）電柱下ルート～姥沢～リフト乗り場～リフト下（1330m）～往路を滑走～志津「ぬくもりの宿：ゆきしろ」泊

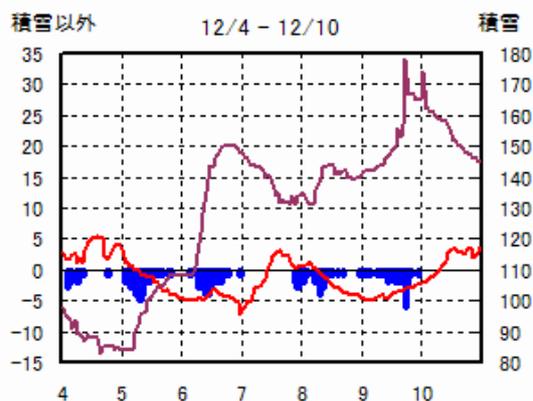
10日：帰葉



- ・今シーズンは順調に降雪が進み3年ぶりに立山室堂に入山したが、悪天で酔っ払い状態で少々パウダーランを楽しんだ程度であった。その頃月山の志津～姥が岳のエリアも多量の降雪で早くも晩秋のパウダーランを楽しんだ地元の方々もいたが、車が多量の雪で埋まって宿の駐車場から脱出できない状況があったようだ。

<http://gamou.world.cocan.jp/yamadata2017/20171125/20171125.html> 残雪期には月山山スキーを以前から楽しんでいたが、シーズン初めのこの時期の入山は未経験で憧れていた。千葉からななにしろ遠路過ぎる。昨年からお世話になっているチーム福島の方々に同行し12月9日に初挑戦となった。Powder Searchでは図のように6日～7日にかけて

湯殿山は 70 cmほど一気に増え、前日に減った積雪も当日は再び降雪模様で厳しい山行となった。寒河江 S A に 7 : 50 集合、志津の除雪終了スペースには既に 4~5 台の先行車が駐車、我々はアラセブンティが殆どの 10 名で 3 台、9 : 00 頃のスタートとなった。

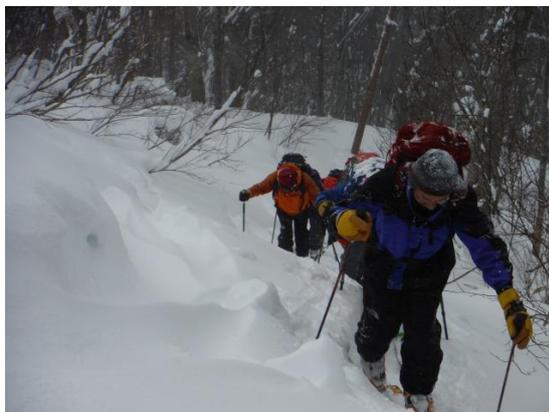


- ・ 標高 700m の志津を出発し暫く車道を進む。降雪、上部は強風予想であったが、序盤は風も殆どなく先行トレースを辿って順調に進む。標高 840m 付近から左側の電柱下ルートに入る。



ここは電柱下ルート切り開きの緩やかな部分であるが、急な部分が多い。切り開きは滑走にはほぼ十分な積雪であるが凹凸やウネリもあり滑走では慎重性が要求される。切り開きが狭く急で直登が困難なところは脇の林間をトラバース気味に高度を上げる。ブナ的美林が気持ちよいが、キックターンにやや苦勞する。藪が埋まり切らず、林間滑走はまだ難しいか。標高 1050 あたりで急斜面を登りきると姥沢に近い道路に出る。再び右の道路脇に入り短い急斜面を登り上げると平らな道路を宿泊施設のある姥沢は間近です。この辺の急斜面はまだ積雪状態が安定しておらず滑走で苦勞するところであった。道路

直前を頑張って登っています。



- ・吹き溜まりの凄まじい山荘のところで小休憩、視界不良・風が強くなってきて先行者のトレースが消えています。気象条件は好転の兆しが見られない。上部ではゆっくり行動食を摂取することが難しいから、ここで行動食を採った。とにかくリフト乗り場まで行ってみよう。漸くリフト乗り場に辿りつきました。



リフト乗り場に行くと、上から地元の方が 2 名滑走してきました。トレランで有名な若い方と年配の方はセンター120 mmのポンツーンのスーパーファットで軽快にリフト下を滑走してきました。





- ・ 宿泊は志津温泉「のくもりの宿：ゆきしろ」です。こんな美味しい夕食、多種類の山菜、アユ、牛肉、これで 9000 円です。温泉は朝も入れます。  
入浴後、ビールで乾杯しながらチーム福島の山スキー年間計画作成に加わらせていただき、夕食時にはV S O Pとレア物の焼酎、地元の日本酒を頂き熟睡できました。4月のリフト開始の日に予約（ちば山メンバーとの合同ツアー）を入れて帰葉しました。

